

## 「住民流ネットワーク」立上げのご提案

私共は、数十年にわたって住民流福祉の解明を続けてきましたが、最近ようやく、その作業が完成に近づいてきました。現段階での住民流理論の総まとめのつもりで、いま最も強く主張したいことに絞って「夢の福祉革命（上下巻）」もまとめました。また、住民流理論の各論とも言うべき小冊子も約60種類が出来上がりました。すべて私共のホームページからダウンロードできます。

また住民流の理論づくりが一段落したこの機会に、住民流の理論の継承者を養成するためのゼミナールを開講することにし、すでに全国数カ所で計画が進んでいます。

継承者の育成とともに、住民流に理解を持ち、また実践している方々のネットワークづくりも必要になってきました。今まではそれぞれの方と私共が直接繋がってきましたが、次の段階として、これからは皆様同士でネットを組み、情報交換や共同事業を進めていただくことが、住民流福祉の発展に不可欠になります。そこで今回、それぞれの方が地元の同志と一緒に「住民流ネットワーク」を立ち上げることを提案させていただくことにしました。

今、私共で考えている構想のあらまは、以下の通りです。

- ❶全国各地に、「住民流福祉ネットワーク・〇〇（市町村名、場合によっては都道府県名）」を立ち上げる。（以下「ネット」）
- ❷「ネット」は住民流福祉に理解を示し、賛同する個人の緩やかなグループとする。組織名だと面倒なことが多いので、各自個人として行動する。
- ❸私共の「住民流福祉総合研究所」とは、上下の関係、本部支部の関係ではなく、平等なネットワークの関係とする。
- ❹住民流の理論は多岐にわたっているので、その中のいずれかに研究・実践の対象を絞って、それを深めていくことが望ましい。
- ❺「ネット」同士の交流や共同事業も進める。同じテーマに取り組んでいる「ネット」同士の共同研究、一つのイベントを一緒にすすめる（ご近所福祉活動発表大会、支え合いマップ研究集会など）、研究誌を一緒にまとめるなど。
- ❻各自が特化して蓄積した知識と技術を、他の「ネット」に提供することでも

きる。指導者や講師として、他の「ネット」へ人材を派遣することも。

⑦住民流の理論そのものは、各自が自由に拡大・発展して当然だが、私が構築した基本論を押さえた上で、御自分の独自の理論を作っていただきたい。

⑧前項のために、全国各地で住民流福祉のゼミナールを開く。「ネット」がゼミナールを主宰することもありうる。

⑨当面、私共から各種情報（メールマガジンやニュースレターなど）や各種事業提案などを発信していくが、いずれは事務局を担う方が出てきて、その方たちで担っていただければと思います。

現段階でも、この中のいくつかは既に実践に移されています。住民流を追求・実践している複数の市町村社会福祉協議会が合同でセミナーを開いたり、他の市町村の同志を講師や指導者として招聘したり、研究会に他の同士も招いたりといったことが行われています。今後、ネットワークを広げることで、こうした活動がもっと幅広く、気軽にできるようになるということです。

すでに「ネット」の立上げが進行している地域も出てきています。これから全国各地でこの作業が始まるでしょう。皆様の地区でも、積極的なご参加をお待ち申し上げております。ご検討の程、ぜひよろしくお願い致します。